

大隅地域感染症情報

2019年第16週報（4月15日～4月21日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	A型肝炎：1件	該当なし
五類感染症	梅毒：1件	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

○定点把握疾患の報告数

- ・ 感染性胃腸炎の報告数が先週に比べて大きく増加し、鹿屋保健所管内は警報の基準値を超えています。
- ・ 手足口病について、鹿屋保健所、志布志保健所共に警報の基準値を超えています。
- ・ 水痘について、鹿屋保健所管内は注意報の基準値を超えています。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			13週	14週	15週	16週	13週	14週	15週	16週	16週	15週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	1.13	0.38	1.63	1.38	4.80	2.40	1.60	1.80	1.54	1.10
RSウイルス感染症	-	-	0.40	1.40	0.80	0.40	0.67	1.00	1.33	0.67	0.50	1.09
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	0.40	1.20	1.00	1.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.63	1.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.60	0.80	1.60	1.40	1.00	0.33	1.67	0.67	1.13	1.94
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	8.20	7.60	9.40	20.40	6.00	4.33	5.00	10.33	16.63	9.59
水痘	2.00/1.00	1.00	0.60	1.40	0.60	1.00	0.00	0.67	0.33	0.33	0.75	0.24
手足口病	5.00/2.00	-	0.00	0.00	0.60	5.00	1.67	1.33	10.00	6.00	5.38	1.37
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20
突発性発疹	-	-	0.00	0.20	0.40	0.60	0.33	0.00	0.33	0.67	0.63	0.46
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.00	0.20	0.20	2.00	0.33	0.33	1.00	1.33	1.75	0.22
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.40	0.40	0.00	0.00	0.33	0.33	0.33	0.00	0.00	0.17
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	2.00	2.00	1.00	0.00						2.57
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	2
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

■ 警報基準値以上

■ 注意報基準値以上

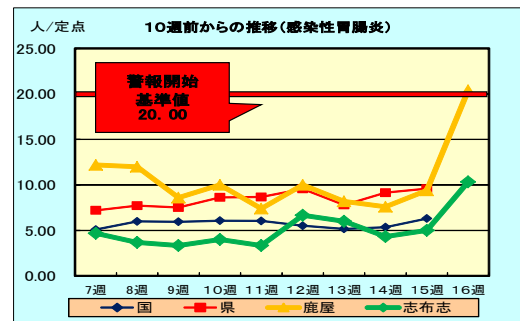
○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは102名（定点当たり報告 20.40）
の報告があり、警報の基準値を上回っています。

志布志保健所管内からは31名（定点当たり報告 10.33）
の報告がありました。

年齢別では、1歳が最多でした。



※第16週は鹿屋・志布志のみ掲載

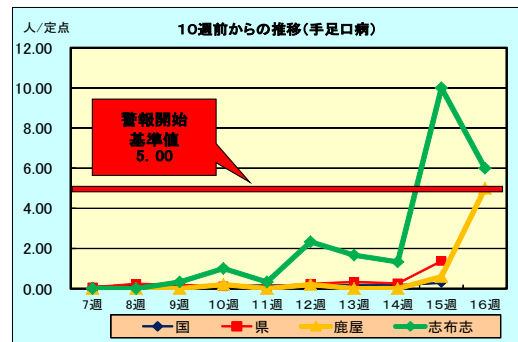
○手足口病について

【 警報開始基準値 5.0, 警報終息基準値 2.0 】

手足口病の発生状況は、
鹿屋保健所管内からは25名（定点当たり報告 5.00）の
報告があり、警報の基準値を上回っています。

志布志保健所管内からは18名（定点当たり報告 6.00）
の報告があり、警報の基準値を上回っています。

年齢別では、1歳が最多でした。



※第16週は鹿屋・志布志のみ掲載

感染性胃腸炎の報告が急増中！

感染性胃腸炎とは、ウイルスや細菌など様々な病原体による感染症ですが、2月～5月にかけては「ロタウイルス」によるものが主に流行します。

ロタウイルスは特に乳幼児の重症急性胃腸炎を引き起こす代表的なウイルスであり、感染力が非常に強いため、注意が必要です。

【症状】

嘔吐、下痢、腹痛、発熱 など

通常1～2週間で自然に治癒するが、脱水がひどくなるとショックや電解質異常などの合併症を起こし、入院が必要となる場合もある

【主な感染経路】

- ・感染した患者の便や吐物などに触れた手等から口に入る場合

【予防方法】

- ・手洗い、うがいの励行
- ・吐物などは適切に処理し、汚染された場所は塩素系消毒剤で消毒
- ・予防接種（任意接種）
※接種後1週間程度は被接種者の便中にウイルスが排泄されるため、注意が必要

